



# いそべ孝義 後援会だより

下松市議会報告

笑顔輝くまちづくり

見たか よし。  
聞いたか よし。  
話したか よし。

発行：いそべ孝義後援会  
事務所：下松市大字東豊井 794  
(日立労組笠戸支部内)  
電話：0833-43-3700



▲一般質問の様子（質問席にはアクリルパネル設置）

## 3月議会報告

2021年度一般会計予算 二百十三億円

『オールくだまつ』で取り組む

### 活動報告

危機から生まれた

with コロナ

変化を成長へ

1月臨時会が1月27日、3月定例会が、2月13日、3月25日、4月臨時会が、4月22、27日の会期で開催されました。議案内容などを報告します。

日頃のご支援に感謝申し上げます。  
新型コロナウイルス感染症の対応から1年が経過しました。感染症の拡大は、地域経済、生活に大きな影響を与え、私たちの意識・行動に変化をもたらしました。ワクチン接種が始まり収束に向かうことを期待したいところですが、まだまだ不透明で厳しい状況にあります。  
そういう状況の中で、2021年度は①感染拡大防止と経済活動活

活化のための施策の重点化、②危機から生まれた変化を成長へとつなげる施策の加速化の2点が重要です。

今回の一般質問では、2021年度がGIGAスクール元年と言われる「学校教育のICT化」と、施策の重点化や危機から生まれた変化への対応が必要な「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、市長や教育長の考え、取り組み状況を確認しました。学校教育は、従来型と

最先端のICT教育の融合により教師や児童生徒のチカラを最大限に引き出す、新たな学びのカタチが進みます。変化が速くスピード感を持った対応、使うことが目的ではなく何をどう学ぶか、子どもたちの学習意欲向上と創造性を引き出すことが重要です。

授業形態の変化による子どもたちの悩み、家庭での役割・保護者の理解など「GIGAスクールってなに」とならないよう周知を求めました。  
2021年度もコロナ対応に注力することになります。市役所内の業務精査・整理（優先順位付け）を求めました。  
この1年間感染症の怖さとともに人の怖さ（誹謗中傷など）も感じ、一方で医療介護など生活を支えている方々の苦勞に感謝し、ひととモノが止まった社会で、一人一人が社会を支えている・支えられていることを再認識できた日々です。人の温もりが感じられる、表情が見える生活・社会になることを願っています。



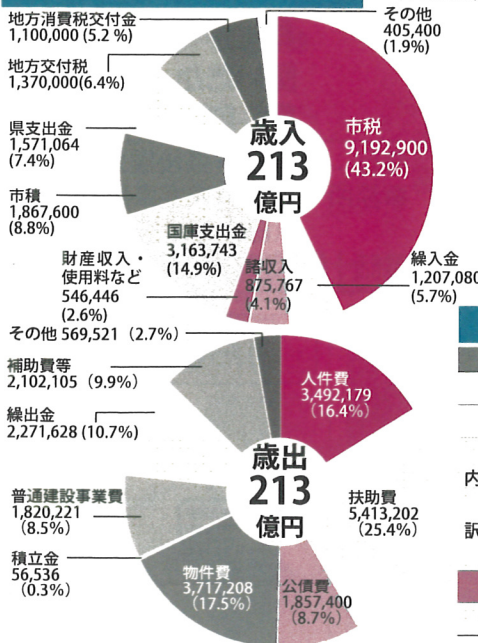
# 2021年度 市長施政方針(要旨)

近年多発する自然災害や収束見通しのつかない新型コロナウイルス感染症拡大など危機管理への対応、行政需要の複雑化・多様化、少子高齢化などの社会問題や地域創生に向けた取り組みを適切に進めるため行政運営の安定と強化が求められる。

「財政構造見直し指針※」に基づいた分析検証を行い、構造改革や財政健全化による徹底した行政改革に取組む。新たな総合計画のスタート年、「自主・自立のまちづくり」を堅持

し、「暮らしの安全安心対策の充実・強化」「産官民による魅力づくりの推進」の2つの重点政策を柱に「市民力」「地域力」「産業力」を結集した官民協働による「オールくだまつ」で鋭意取組む。

## 一般会計 歳入・歳出の内訳



## 各会計予算額

(単位:百万円、%)

会計区分	令和3年度	前年度比
一般会計	21,300	▲1.6
特別会計	12,077	3.0
国民健康保険特別会計	5,214	▲4.1
介護保険特別会計	5,585	7.3
後期高齢者医療特別会計	998	▲0.5
国民宿舎特別会計	280	259.0
計	33,377	0.0
企業会計	5,294	▲0.3

～新型コロナウイルス感染症対応～

### ◎地域外来・検査センター運営費

事業費: 2,200万円

### ◎新型コロナ感染症対策費

(各所の消耗品や備品など整備)

事業費: 1,000万円

### ◎中小企業応援: 感染症そなえール補助金

・感染症拡大防止に要した経費を補助(最大20万円)

事業費: 3,600万円

### ◎業界団体応援: 経営ささえール補助金

・活性化対策事業に要した経費を補助(最大200万円)

事業費: 1,400万円



～学校環境整備～

### ◎下松小学校建設事業 [2期工事]

・2021年度: 第2校舎解体、外構他。

事業費: 約1億円

(2018～21年度 総事業費見込み 15億5,000万円)

### ◎公集小普通教室棟床や外構アプローチ改修、

花岡小体育館照明LED化、豊井小体育館雨漏補修等

事業費: 1億3,000万円

### ◎ICT教育推進事業

タブレット端末整備、ICT指導員配置など

事業費: 約1億3,600万円

## 主な施策と事業費です

～子育て支援事業～

### ◎久保児童の家2建設事業

事業費: 約5,036万円

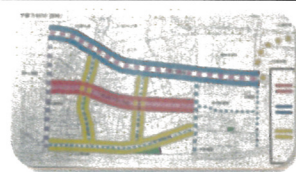
### ◎産前産後サポーター派遣事業

事業費: 約89万円

### ◎豊井地区まちづくり整備事業

事業費: 約1億2,300万円

・用地取得や生活道路の環境整備に着手



～防災事業～

### ◎福祉避難所備蓄品など購入事業

事業費: 600万円

### ◎防災ガイドブック作成業務

事業費: 500万円

### ◎救助工作車更新

事業費: 1億5,000万円

### 旗岡市営住宅B号棟建設事業

事業費: 1億6,550万円

2021,22年度 総事業費見込み 5億3,200万円

### 花岡公民館講堂建設事業

事業費: 6,800万円

2021,22年度 総事業費見込み 4億5,000万円

### 新斎場周辺環境整備事業

事業費: 4,300万円

### 野犬対策 (捕獲檻など)

事業費: 約35万円

### 生ごみ処理機など購入補助

事業費: 100万円

ものづくりアーカイブス企画、  
総合計画子ども版作成 etc.

※財政構造の見直し指針: 現在の財政状況を分析検証し、収支均衡のとれた歳入歳入構造を進めるための指針。



## 一般質問報告

「GIGAスクール  
って何？」

## 学校教育のICT化

Q.「GIGAスクール構想」※の目指すもの、整備状況、活用の方を問う。

A.子どもたち一人ひとりの資質・能力を育むための、より最適なICT環境を実現すること。従来型の教育とICT教育の融合により、児童生徒の力を最大限に引き出すことを目指している。

昨年12月には無線LAN環境の構築、タブレット保管庫の設置をした。小学3年生から中学3年生までのタブレットは3月中に配備、小学1、2年生は2021年度に配備予定。

まずは、授業における調べ学習、一人ひとりの意見をリアルタイムに共有する場面や作品・資料を発表する場面などで活用したい。

※GIGAスクール構想…令和時代のスタンダードな学校像として1人1台端末及び高速大容量通信ネットワークの整備を文部科学省が示したもの。

Q.タブレットは4月から本格的に運用となるが、使用のルール作りや設定、教員のスキル向上などのサポート状況、体制を問う。

A.2020年度GIGAスクールサポーター

(環境整備・設計、マニュアル作成など)の配置により、順次作業を進めてきた。

授業の実践事例発表や講師を招いた研修な

どでICT教育を推進するリーダーの育成を進めているところである。

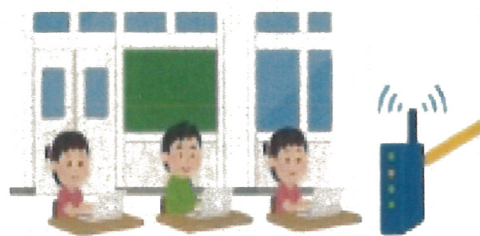
また、個人情報保護や情報セキュリティ、破損時の補償などのルール作成を検討中である。

Q.課題として、協調性・コミュニケーション能力低下への懸念、視力・体力低下、ネット利用によるトラブル、多様な子どもたちへの配慮があげられる。また、家庭の負担や保護者の理解なども求められる。市の課題認識と対応の考え方を問う。

A.インターネットを正しく使いこなすための能力の育成や情報モラルの向上、長時間利用による視力の低下など健康面への対応が必要と考えている。

また、現状は保護者への費用負担はないが、今後端末持ち帰りによる家庭学習など実施となれば各家庭の通信環境の活用となり、保護者の理解と協力が不可欠となる。

Q.「しごと」については、企業立地などによる雇用創出が図られた。「ひと」については、子育て支援環境、学校施設整備など着実に進めた。「まち」については、企業等との包括連携協定による施策展開、インフラ整備を進め、住みよさの実感、満足度の向上につながっていると評価している。

コロナ禍での創生  
総合戦略の進め方

GIGAスクール構想

Q.第1期「2015～2019年度まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組みの効果検証、評価を問う。

A.「しごと」については、企業立地などによる雇用創出が図られた。「ひと」については、子育て支援環境、学校施設整備など着実に進めた。「まち」については、企業等との包括連携協定による施策展開、インフラ整備を進め、住みよさの実感、満足度の向上につながっていると評価している。

## 《まち・ひと・しごと創生総合戦略※の取組み》

感染症の影響を踏まえた  
デジタル化促進

全国的な人口減少・少子高齢化の中、市は出生率を維持し、人口もこの5年間で増加している。施策の好循環による総合的な結果と自負している。

A.第1期の効果検証を踏まえ、地方創生の充実・強化に「オールくたまつ」で取組むこと、官民連携の促進にもつながるSDGsを踏まえた推進にも力を入れることがポイントとなる。

総合計画とは概ね関連付けができています。コロナ禍での方向性として、「感染症による意識・行動変容を踏まえた、ひと・しごこの流れの創出」「各地域の特色を踏まえた自主的・主体的な取組みの促進」を視点に、デジタル化やテレワーク促進など、時代の変化を捉えた新たな地方創生の取組み、市の実情に沿った見直しを検討する。



Q.新たな総合計画「2021年度」や、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた第2期「2020～2024年度創生総合戦略のポイント、見直しの考え方を問う。



## トピックス

「ひらめきパーク  
笠戸島」子どもたちに人気の  
タッチングプール

## “下松市栽培漁業センター愛称決定”

2 月に愛称募集。349 件の中から市内の小学  
6 年生の作品が選ばれた。

「ら」の字を  
よく見ると  
ひらめ?



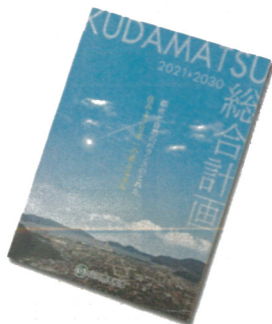
顔出しパネルも設置!



## 『下松市総合計画※』策定 [2021年3月]

(市政の中長期的な基本方針、最上位計画)

- 市政における様々な分野の施策の総合的指針となる計画。
- 目指す都市像を掲げ、それに向けて行うべき効果的な施策を体系化して示すもの。
- 計画期間：  
2021～2030 年度

“下松小学校2期工事  
普通教室棟など完成”

曲線を  
描く校舎

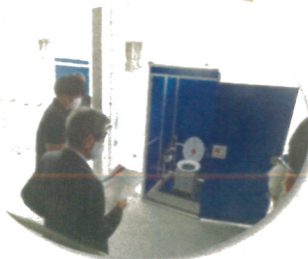
木が使われて  
いる内装



○普通教室棟 (4 月完成 5 月利用開始) …

- ・鉄筋コンクリート造 2 階建て  
普通教室 16 教室、少人数教室 2 教室、  
ワークスペース、多目的スペース

各教室横には  
タブレット保管庫



体育館横には  
マンホールトイレ※  
整備

※マンホールトイレ：避難所などの生活環境の確保のために整備推進中。必要時にマンホール蓋を開け、便器と囲いを設置し活用。

※下松市総合計画：基本構想と基本計画からなる 10 年間のまちづくりや市政の総合指針。

## 2020年度補正予算 主な内容

## 新型コロナウイルスワクチン接種事業費

- ・ワクチン接種体制の整備及び市民への接種実施  
(全額国の負担金・補助金での事業)

補正額： 約2億9,000万円

## 新型コロナ感染症対策基金積立

- ・感染症の影響により中止となった行事など経費減額分の積み立て

補正額： 2,630万円

## 笠戸島ハイツ解体事業

- ・解体のための実施設計、備品処分

補正額： 1,600万円

- ・児童の家用地購入[約 336 万円]  
(久保児童の家2の用地購入費)
- ・東陽小学校トイレ改修事業[7,200 万円]  
(洋式化、ドライ化、自動水栓化)
- ・公集小学校理科室空調設備設置[180 万円]  
(夏休みの高学年児童預かりへの対応)